

平成
24
年度

決算報告

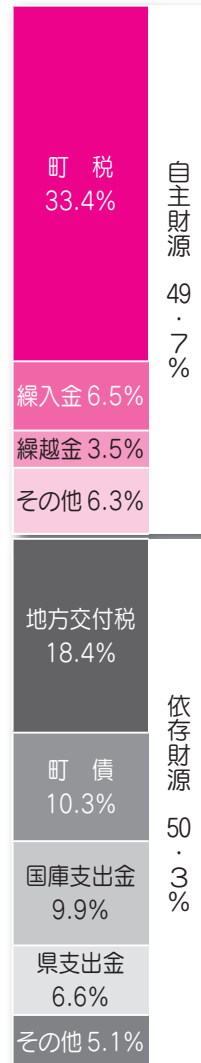
歳入 109億 1,615万 4千円
歳出 104億 7,479万 5千円

一般会計

一般会計歳入

(単位 / 千円)

項目	24年度決算	前年度増減額
町税	36億 5,015万 9	△ 8,011万 5
繰入金	7億 1,078万 6	4億 5,821万 9
繰越金	3億 8,468万 7	5,142万 1
その他		
・ 分担金及び負担金	1億 982万 5	△ 49万 1
・ 使用料及び手数料	6,078万 1	23万 9
・ 財産収入	1,548万 3	380万 3
・ 寄附金	90万 5	△ 143万 5
・ 諸収入	4億 9,406万 4	2億 9,422万 2
地方交付税	20億 640万 8	7,056万 9
町債	11億 2,504万 7	1億 7,953万 2
国庫支出金	10億 8,184万 3	1億 5,098万 6
その他		
・ 県支出金	7億 2,254万 8	8,638万 7
・ 地方消費税交付金	2億 9,574万 1	△ 545万 1
・ 地方譲与税	9,869万 2	△ 545万 8
・ 地方特例交付金	1,934万 9	△ 3,300万 1
・ 自動車取得税交付金	4,273万 2	1,891万 7
・ ゴルフ場利用税交付金	7,155万 6	210万 7
・ 利子割交付金	881万 3	△ 122万 6
・ 株式等譲渡所得割交付金	256万 2	62万 6
・ 配当割交付金	887万 8	105万 0
・ 交通安全対策特別交付金	529万 5	4万 9
合計	109億 1,615万 4	11億 9,095万 0



平成24年度決算が9月定例町議会で承認されました。決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成24年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

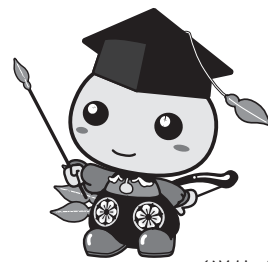
町民1人あたりの町税の負担額は

10万 2,263円です。

- ・ 町民税 51,532円
- ・ 固定資産税 39,727円
- ・ 町たばこ税 6,060円
- ・ 都市計画税 3,284円
- ・ 軽自動車税 1,642円
- ・ 入湯税 18円

用語の解説

- ・ **自主財源** 町税、使用料・手数料、諸収入など、町が自ら調達できる財源です。
- ・ **依存財源** 国や県から交付されたお金や借り入れたお金で、地方交付税、国庫・県支出金、町債、交付金などです。
- ・ **町税** 町に納められた税金で、全体の約9割が町民税と固定資産税です。
- ・ **都市計画税** 都市計画事業または土地区画整理事業の費用に充てるため、市街化区域内に所在する土地および家屋を所有する人に課税されます。
- ・ **地方交付税** 一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されるものです。
- ・ **町債** 大きな事業を行うためなどに、国や金融機関などから借り入れたお金です。
- ・ **公債費** 借り入れた町債を返済するための経費です。



(単位 / 千円)

平成 24 年度の主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

- コミュニティ協議会補助金 181 万円
- 広報印刷事業 682 万 9 千円
- 区運営費補助金 431 万 2 千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

- 児童手当 5 億 1,966 万円
- 介護給付費・訓練等給付費 3 億 8,640 万 3 千円
- 新保育園建設事業 2 億 5,812 万 3 千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

- 武州長瀬駅北口周辺地区整備事業 4 億 1,902 万円
- 埼玉西部環境保全組合負担金 4 億 273 万 9 千円
- 毛呂山越生鳩山公共下水道組合負担金 4 億 1,760 万 3 千円

元気に仕事ができるまちづくり

- 農道・用排水路等整備事業 2,097 万 1 千円
- 観光事業 1,484 万 1 千円
- 商工会補助金 754 万円

学びを未来に活かすまちづくり

- 川角小学校体育館耐震補強工事 1,207 万 5 千円
- 泉野小学校体育館耐震補強工事 3,780 万 5 千円
- 学力向上支援員賃金 2,628 万 6 千円

一般会計歳出

項目	24 年度決算	前年度増減額	
民生費	33 億 5,666 万 3	3 億 9,006 万 5	民生費 32.0%
土木費	13 億 7,337 万 0	3 億 9,592 万 4	
総務費	13 億 6,705 万 3	△ 1 億 2,869 万 9	土木費 13.1%
教育費	10 億 4,803 万 1	△ 7,732 万 8	
衛生費	7 億 8,547 万 5	△ 2,506 万 1	総務費 13.1%
公債費	7 億 6,825 万 4	781 万 8	
消防費	6 億 1,279 万 3	1,140 万 7	教育費 10.0%
農林水産業費	1 億 2,259 万 5	△ 285 万 9	
その他			衛生費 7.5% 公債費 7.3% 消防費 5.9% その他 9.9%
・ 議会費	1 億 1,355 万 5	203 万 5	
・ 商工費	4,980 万 9	201 万 4	
・ 労働費	3,003 万 2	△ 99 万 5	
・ 災害復旧費	0	0	
・ 諸支出金	8 億 4,716 万 5	5 億 5,995 万 7	
合計	104 億 7,479 万 5	11 億 3,427 万 8	

農林水産業費 1.2%

町民 1 人あたりに使われるお金は

合計 29 万 3,461 円です。

民生費 94,040 円	教育費 29,362 円	消防費 17,168 円
土木費 38,476 円	衛生費 22,006 円	農林水産業費 3,435 円
総務費 38,299 円	公債費 21,523 円	その他 29,152 円

平成 25 年 3 月 31 日現在の人口 3 万 5,694 人で算出

特別会計

(単位 / 千円)

区分	歳入 (A)	歳出 (B)	差し引き (A - B)
国民健康保険	46 億 4,704 万 2	43 億 4,890 万 7	2 億 9,813 万 5
農業集落排水事業	2,885 万 1	2,553 万 7	331 万 4
介護保険	17 億 6,653 万 6	17 億 1,466 万 5	5,187 万 1
後期高齢者医療	2 億 8,344 万 6	2 億 7,687 万 2	657 万 4

水道事業会計

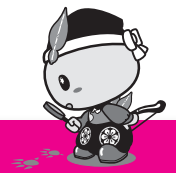
(単位 / 千円)

区分	収入 (A)	支出 (B)	差し引き (A - B)
収益的収支	7 億 5,340 万 2	7 億 320 万 4	5,019 万 8
資本的収支	6,093 万 5	4 億 60 万 8	△ 3 億 3,967 万 3

※資本的収支の収入不足は、会計内に積立てられた損益勘定留保資金などで補てんしました。

町の会計は、一般会計と特別会計とに分けています。毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療の 4 つの特別会計と、企業会計である水道事業会計とがあります。

特別会計



財政健全化を判断する4つの指標

バランスシートの

用語解説

負債の部

資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならないものです。

固定負債 町が借り入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額です。退職手当引当金は、年度末に全職員が普通退職した場合に支払う退職金の額を負債として計上しています。

流動負債 地方債のうち翌年度の償還予定額です。

純資産の部

資産と負債の差額で、これまでの世代によりすでに負担されたものです。

公共資産等整備国県補助金等

国・県から受け入れた資金です。

公共資産等整備一般財源等

資産形成に用いた財源のうち、国県からの資金および地方債以外のもの。

資産の部

これまでの行政活動によって形成された町の経営資源となるものです。

公共資産 町役場庁舎や公民館などの建物や付属設備、橋や道路の舗装などの構築物、町の所有している自動車や土地などを行政目的別に表示しています。土地を除き施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。

投資等 川越総合卸売市場への出資金や、公共施設整備基金などの特定目的基金と土地開発基金などです。退職手当組合積立金は、退職金の支給に備えて町が加入している退職手当組合の資産の持分相当額です。

流動資産 現金・預金のほか一年以内に現金化することが可能な基金と町税などの未収金です。

平成19年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務づけられました。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、健全性を示しています。

一般会計などの赤字の程度は？（実質赤字比率）

赤字なし
(14.21%)

全会計での赤字の程度は？（連結実質赤字比率）

赤字なし
(19.21%)

標準財政規模※に対して借金返済額の占める割合は？（実質公債費比率）

6.7%
(25.0%)

標準財政規模に占める借金残高の割合は？（将来負担比率）

58.9%
(350.0%)

■実質赤字比率

標準財政規模に対して、一般会計などの赤字がどれだけあるかを計ります。

■連結実質赤字比率

標準財政規模に対して、全ての会計の赤字がどれだけあるかを計ります。

■実質公債費比率

標準財政規模に対して、1年間に返済する借金がどれだけあるかを計ります。（18%未満が健全とされますが、県平均は6.6%）

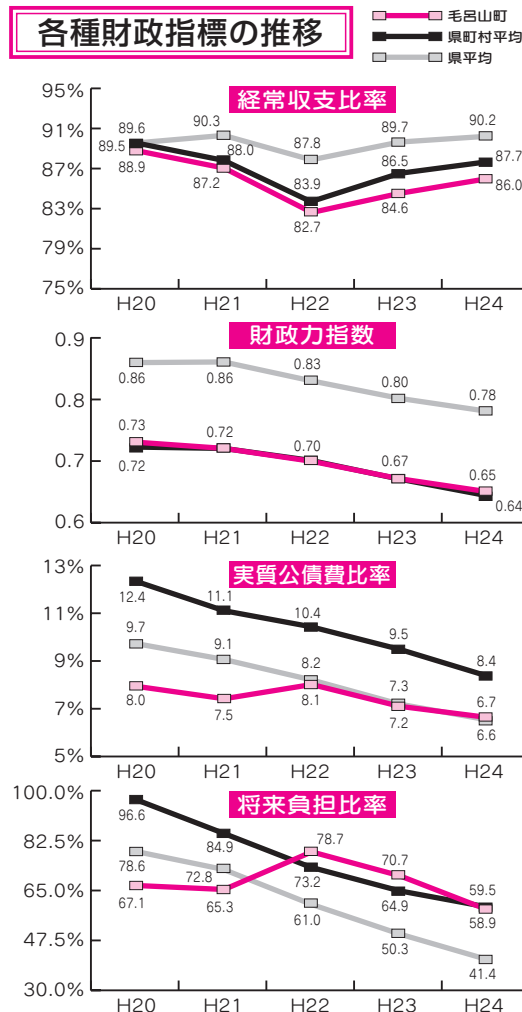
■将来負担比率

標準財政規模に対して、全ての会計が将来負担すべき債務がどれだけあるかを計ります。（県平均は41.4%）

※標準財政規模…1年間に安定して得ることができる収入

()内は国の早期健全化基準、この基準を下回れば健全

各種財政指標の推移



経常収支比率は財政構造の弾力性を判断するための指標で、毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合です。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられています。

財政力指数は財政力を示す指数として用います。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることとなります。財政力指数が単年度で「1」を超える場合には、自立して財政運営ができることを示し、普通交付税の不交付団体となります。

実質公債費比率は町の借入金返済額などにかかる実質的な財政負担の程度を示すものです。本町では平成22年度に土地開発公社解散に伴う土地の買戻しを実施したことにより比率が上昇しましたがその後減少しています。

将来負担比率は借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の程度を示すものです。本町では、平成22年度に武州長瀬駅前北口周辺地区整備事業の債務負担行為を設定したことにより、将来負担比率が上昇しました。

町の財政状況はどうなっているんだろう？



もろ丸くんの

バランスシート

チェック!

バランスシートというのは、町がどのくらい財産を持っていて、どのくらい借金などがあるかを示す表なんだ。これで町の財務状態をチェックすることができるんだよ。学校、施設、道路などの町の資産を「借方」に、それを作るためのお金を「貸方」に記載するんだ。貸方のうち、「負債の部」はこれから返すお金、「純資産の部」はすでに払ったお金のことなんだよ。

この表から見ると、まずは平成24年度の1年以内に返すお金（流動負債）に対する、1年以内に現金化でき

る資産（流動資産）の割合（流動資産÷流動負債）は約176.9%だね。これは翌年度支払予定額の約1.7倍の流動資産を持っているということなんだ。さらに、すでに支払ったお金（純資産）に対する、これから返すお金（負債）の比率（負債÷純資産）も30.3%とまだまだ低い方なんだよ。これは、負債比率といって財政の健全性の観点から低い方が良いとされているんだ。

こうしてみると毛呂山町の財政が健全であることがこの表から分かるんだね。

借方

町の資産（土地・現金など） 単位：千円

資産の部	町全体	町民1人当たり
公共資産	429億5,519万3	120万4
生活インフラ・国土保全	198億5,556万0	55万6
教育	80億9,331万8	22万7
福祉	11億7,532万9	3万3
環境衛生	4億4,928万1	1万3
産業振興	27億1,714万8	7万6
消防	1億471万0	3
総務	105億889万7	29万5
売却可能資産	5,095万0	1
投資等	20億6,877万9	5万8
投資及び出資金	8億9,680万7	2万5
投資損失引当金	0	0
貸付金	0	0
基金等	8億9,911万6	2万5
退職手当目的基金	0	0
その他特定目的基金	5億7,317万4	1万6
土地開発基金	1億651万9	3
その他定額運用基金	200万0	0
退職手当組合積立金	2億1,742万3	6
長期延滞債権	3億4,178万1	1万0
回収不能見込額	△6,892万5	△2
流動資産	12億9,117万6	3万6
現金預金	11億9,091万4	3万3
財政調整基金	7億4,955万5	2万1
減債基金	0	0
歳計現金	4億4,135万9	1万2
未収金	1億26万2	3
地方税	1億2,702万1	4
その他	0	0
回収不能見込額	△2,675万9	△1
合計	463億1,514万8	129万8

貸方

資産形成に要した資金の調達方法 単位：千円

負債の部	町全体	町民1人当たり
固定負債	100億3,671万9	28万1
地方債	82億4,615万9	23万1
長期未払金	0	0
物件の購入等	0	0
債務保証又は損失補償	0	0
その他	0	0
退職手当引当金	17億9,056万0	5万0
損失補償等引当金	0	0
流動負債	7億2,971万0	2万1
翌年度償還予定地方債	6億2,135万9	1万8
短期借入金	0	0
未払金	0	0
翌年度支払予定退職手当	0	0
賞与引当金	1億835万1	3
歳計外現金	0	0
合計	107億6,642万9	30万2
純資産の部	町全体	町民1人当たり
公共資産等整備国県補助金等	52億7,426万6	14万8
公共資産等整備一般財源等	226億2,955万8	63万4
その他一般財源等	△6億773万5	△1万7
資産評価差額	82億5,263万0	23万1
合計	355億4,871万9	99万6
負債・純資産合計	463億1,514万8	129万8

●平成24年度のバランスシート●

町全体では
 資産 = 負債 + 純資産
 463億円 108億円 355億円

町民1人当たりでは
 資産 = 負債 + 純資産
 129万8千円 30万2千円 99万6千円

バランスシート

資産 = 負債 + 純資産

